

レクチャー&ミニコンサート

「懐かしいあの音は、どう作られたのか」

～80年代ポピュラー音楽を、対談と演奏で聴き直す～

日程 **9月7日(月) 14:00開講**(13:30開場) 16:00終了予定

会場 J:COM浦安音楽ホール ハーモニホール(定員200名)

講師・演奏 **森 篤史** (ピアノ/昭和音楽大学短期大学部准教授)

ゲスト **柴矢 俊彦** (ギタリスト・作曲家・プロデューサー)

曲目 Tears in heaven / 作詞・作曲: エリック・クラプトン、ウィル・ジェニングス

純風 / 作詞・作曲: 斉藤和義 ほか ※予告なく変更する場合がございます。

料金 (全自由席) J:COM浦安音楽ホール友の会会員500円(ご本人のみ)
一般1,000円 ※要予約・料金は当日お支払いください

企画・制作 (株)プレルーディオ

1980年代のポピュラー音楽には、今聴いても耳に残る魅力があります。軽やかなリズム、印象的なメロディ、時代を感じさせるサウンド。その背景には、当時ならではの空気感や、演奏者・制作者たちの新しい感覚がありました。本講座では、「ジューシー・フルーツ」のギタリストとして活動し、その後も作曲・編曲、アーティスト育成など幅広く音楽に携わってきた柴矢俊彦氏を迎えます。森篤史との対談と実演を通して、80年代ポピュラー音楽の魅力や、当時の空気感や演奏者の視点から楽しくひもときます。



森 篤史

昭和音楽大学大学院修了。クラシックの確かな技術を土台に、最新のデジタル技術を駆使した音楽制作や楽曲分析を専門とする。現在は昭和音楽大学にて、プロの現場でも通用する「音楽の聴き方・作り方」を指導。本講座では、専門的な理論を誰もが楽しめる「音の聴き比べ」として分かりやすくガイドする。

柴矢 俊彦

昭和30年北海道生まれ。小学生の頃よりギターを始め、高校時代からバンド活動を行う。上京後、バックギタリストとして活動し、1980年より伝説のバンド「ジューシー・フルーツ」のギタリストとして活躍。解散後は作曲・編曲家として、南野陽子ほか多くの作品を手がける。1995年にアミューズ入社後は、ミュージカル企画や新人発掘・育成に携わる。2015年退職後は、昭和音楽大学などで後進の指導にあたった。



お申込み受付 6月7日(日)9:00～

お電話または、窓口にてお申し込みください。

料金は講座当日にお支払いください。

※出演者・テーマについては変更になる可能性もございます。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

※予約いただいたお名前とご連絡先は緊急時の連絡と申し込み人数の把握に使用させていただきます。

※お申込み後にキャンセルされる場合は、事前に浦安音楽ホールまでご連絡ください。



お問合せ・お申込み **TEL.047-382-3035**

J:COM浦安音楽ホール(受付時間9:00～21:00)

〒279-0012 千葉県浦安市入船一丁目6番1号

※休館日: 第2・第4火曜日(除祝日) 12/29～1/3休館